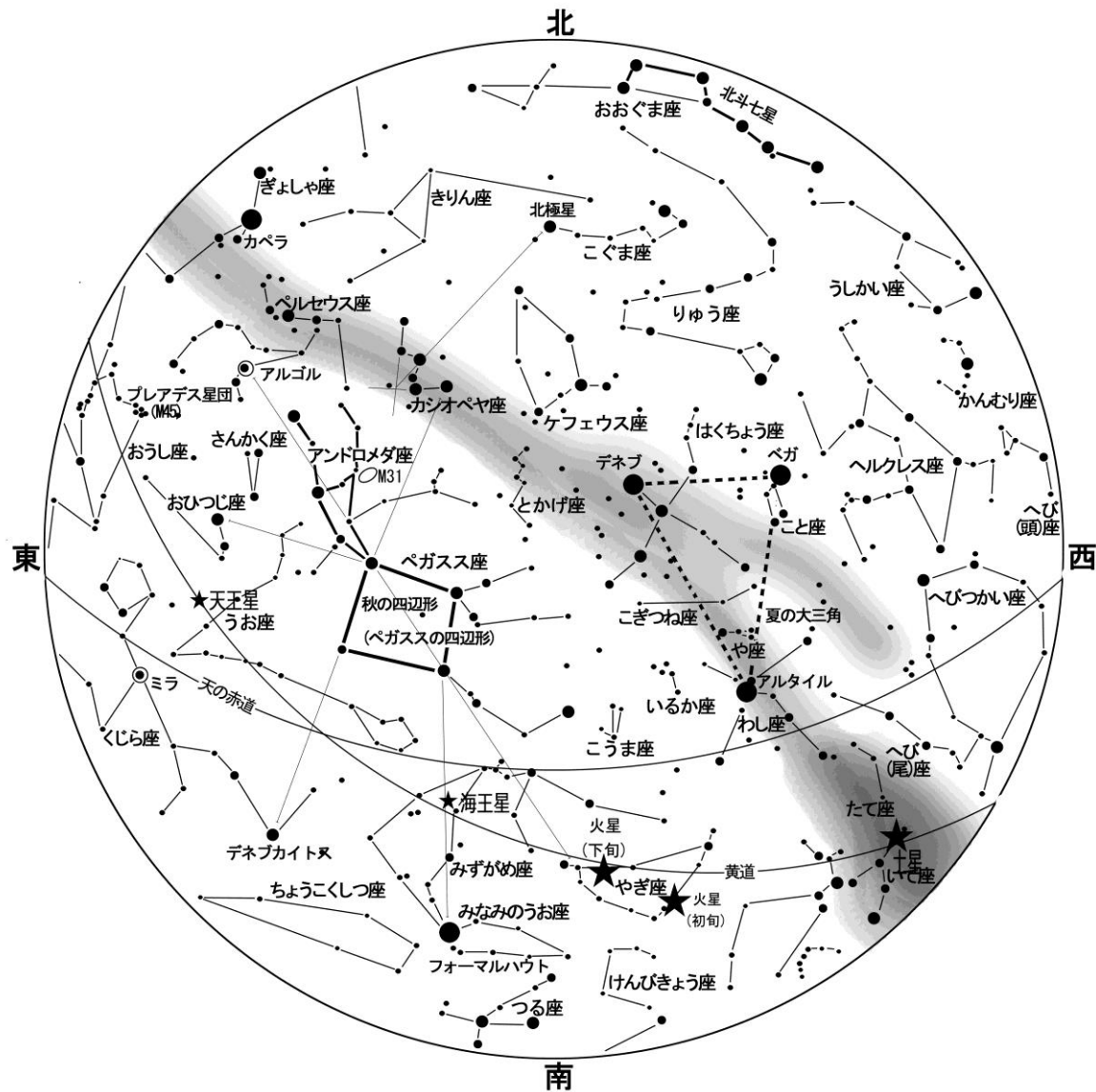


平成30年 10月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★10月の星空案内

今月の星空で星座探しの案内役は、頭の真上あたりにある握り拳より一回り大きい四角形の星の並び“秋の四辺形”です。“秋の四辺形”はペガサス座の一部なので、“ペガサスの四辺形”とも言われています。まず、“秋の四辺形”の西(右)の辺を南にのばしていくと、秋の星座をつくる星で唯一の一等星フォーマルハウトを見つけることができます。ここにはみなみのうお座があります。次に、“秋の四辺形”の東(左)の辺を北にのばしていくと、「アルファベットのWの字」のような5つの星の並びが見つかります。この星の並びがカシオペア座です。さらに、“秋の四辺形”の北東角(左上)の星を頂点とした“アルファベットのAの字”の星の並びがアンロメダ座です。このあたりにぼんやりと、かすかに光る雲のようなものがアンドロメダ銀河(M31)です。アンドロメダ銀河は、私たちの天の川銀河のとなりの銀河です。となりと言っても、地球から約230万光年(光の速さで約230万年かかる距離)離れています。秋の夜長に、秋の四辺形から星や星座、アンドロメダ銀河を探してみたいはいかがでしょうか。

< 現在見える惑星 >

水星(-0.4等前後): おとめ座→さそり座付近	観測に適さない。
金星(-4.2等前後): てんびん座→おとめ座付近	日の入り後、西の低空で明るく輝く。(上旬)
火星(-0.9等前後): やぎ座付近	20時頃、南の空で輝く。
木星(-1.8等前後): てんびん座付近	日の入り後、南西の低空で明るく輝く。
土星(0.5等前後): いて座付近	20時頃、南西の空で輝く。

注目の天文現象 ～月と惑星の共演を楽しもう!～

日の入り後の空には、木星、土星、火星が輝いています。夏から秋にかけて夜空を彩っていた惑星たちの共演も、いよいよ終盤です。

12日には三日月の近くに木星が輝いています。木星は太陽を追うようにすぐに沈んでしまうため、早めの観察がおすすめです。月はその後、日々形を変えながら15日に土星、18日に赤く輝く火星に接近していきます。

惑星との共演を名残り惜しむように、夜空を移動していく月。秋の夜長に響く虫の声を聞きながら、月と惑星の共演を楽しんではいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
2	火	☾ 下弦 (18:45)	21	日	後の月(十三夜)
9	火	● 新月 (12:47)	22	月	オリオン座流星群が極大(02時頃)
17	水	☾ 上弦 (03:02)	24	水	天王星が衝: 観望の好期(14:37)
19	金	やぎ座δ(2.9等)の星食(15:24)	25	土	○ 満月 (01:45)